

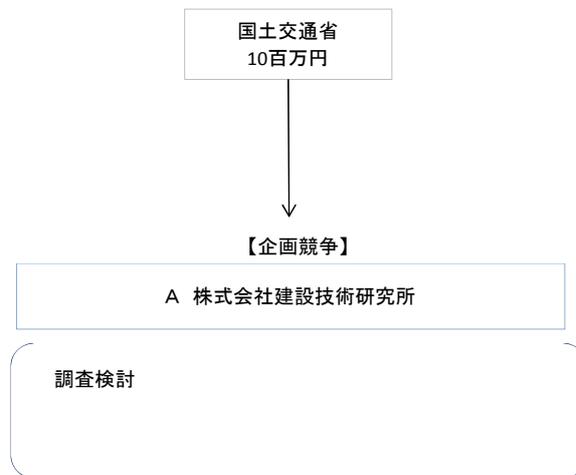
平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	不法占用対策に係る調査検討業務経費		<b>担当部局庁</b>	道路局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度		<b>担当課室</b>	路政課 道路利用調整室		室長 牛山 智弘		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通の安全性を確保・向上する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	道路法第32条		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	不法占用物件などにより道路の通行機能が阻害されるなど、道路の不適正な利用により本来の機能が発揮できていない状況が見受けられており、効果的な不法占用対策を策定し、道路の適正利用を促進することを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	直轄国道事務所を中心に地域が構成する協議会等と一体的に実施する不法占用対策に係る取り組みを調査する。また、これらの効果及び課題等を検証し、効果的な不法占用対策を検討する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算				10		
		前年度から繰越し				-		
		翌年度へ繰越し						
		予備費等						
		計				10		
	執行額							
	執行率 (%)							
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	効果的な不法占用対策の策定 (本事業は、効果的な不法占用対策を検討するものであって、定量的な成果指標を定めて実施するという性質のものではない。)		成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	不法占用対策に係る取り組みの調査 (本事業は、不法占用対策に係る取り組みの調査を実施するためのものであり、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない。)		活動実績	-	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たりコスト	-	-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	道路交通安全対策費		10	-				
	計		10	-				

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性		広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	道路交通の安全性を確保・向上を担う事業として実施。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
		単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事業の有効性		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	道路に係る行政ニーズに効果的かつ効果的に対応するための基礎的検討を実施。		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	不法占用物件などにより道路の通行機能が阻害されるなど、道路の不適正な利用により本来の機能が発揮できていない状況が見受けられており、道路の適正利用を促進していくため、効果的な不法占用対策を検討する必要がある。				
	改善の方向性	点検結果を踏まえ、引き続き効果的な不法占用対策を検討する必要がある。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
平成26年度をもって事業終了						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
本検討業務については、今年度限りで廃止することとしている。今後、本事業で得られた成果を活用した取り組みを進めるものとしている。						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-28	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位：百万円)

A.株式会社建設技術研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	調査検討	10			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	運転支援技術の飛躍的向上等による安全で円滑なITSに関する検討経費		<b>担当部局庁</b>	道路局		<b>作成責任者</b>	室長 山本 巧	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度～平成28年度(予定)		<b>担当課室</b>	道路交通管理課 ITS推進室				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通の安全性を確保・向上する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 世界最先端IT国家創造宣言(平成25年6月14日閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略(平成25年6月7日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	安全で円滑な道路交通を確保するため、自動車と道路が連携した次世代のITSの実現に向けて、官民連携により、路車間通信の仕組みに加え、自動車の制御技術や道路側データ等を活用した安全性の向上等に関する効果分析を推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	高速道路における交通死亡事故件数のうち、ドライバーの不注意や運転操作ミスに関する事故が約7割を占め、着実な対策が必要となっている。また、都市間高速等の渋滞も依然として多い状況にあり、対策が必要となっている。交通事故や交通渋滞のITS活用による改善を目的とし、道路側と車両側の連携サービスに必要となる検討事項の整理、道路側データの有効性・整備手法の検討及び車両の位置特定技術に関する検討を行い、安全性の向上等を図りつつ、将来的な高速道路上の自動運転の実現につなげていく。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算				139	60	
		前年度から繰越し				-		
		翌年度へ繰越し						
		予備費等						
		計					139	60
	執行額							
執行率(%)								
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	運転支援技術の飛躍的向上等による安全で円滑な道路交通の検討 (本事業は、運転技術の飛躍的向上等による安全で円滑な道路交通の検討を目的としており、定量的な成果指標を定めて実施するという性質のものではない。)		成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	官民連携による道路側データや位置特定技術等を活用した実証実験を実施 (本事業は、官民連携による道路側データや一特定技術等を活用した実証実験を行うものであり、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない。)		活動実績	-	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たりコスト	-	-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	道路交通安全対策費		139	60				
	計		139	60				

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	道路交通の安全性の向上・円滑化に寄与		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該予算の執行は国土交通省で実施する予定である。</li> <li>また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関により審議いただく予定である。</li> </ul>				
	改善の方向性	必要性、効率性、有効性に留意しながら検討を進める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>安全で円滑な道路交通の確保のため、自動車の制御技術や道路側データ等の活用可能性の検討により、安全性の向上等に関する効果分析を推進すること。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
<p>必要性、効率性、有効性に留意しながら、道路側と車両側の連携サービスの活用可能性の検討により、安全性の向上等に関する効果分析を推進する。</p>						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-29	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省  
139百万円



A 民間企業等



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	大規模災害時における情報収集の高度化による初動の強化に関する検討経費		<b>担当部局庁</b>	道路局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度～平成27年度(予定)		<b>担当課室</b>	道路交通管理課 ITS推進室		室長 山本 巧		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通の安全性を確保・向上する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	日本再興戦略、世界最先端IT国家創造宣言 等				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	大規模災害時において、自動車のプローブ情報や通行規制情報等を活用し、早期の被害状況の把握等により初動の強化を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	大規模災害時において、官民が保有する自動車のプローブ情報や通行規制情報等について、各機関と連携を図りデータを同一地図上に表示し、被害状況等を速やかに把握することにより、初動の強化を図る。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	/	/	/	62	90	
		補正予算	/	/	/			
		前年度から繰越し	/	/	/	-	-	
		翌年度へ繰越し	/	/	/			
		予備費等	/	/	/			
		計	/	/	/	62	90	
	執行額	/	/	/				
執行率(%)	/	/	/					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		/	単位	23年度	24年度	25年度	目標値(年度)
	成果実績			-	-	-	-	/
	目標値			-	-	-	-	-
	達成度			%	-	-	-	/
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		/	単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	活動実績			-	-	-	-	-
	当初見込み			-	-	-	-	-
	算出根拠			-	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		/	単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-			単位当たりコスト	-	-	-	-
	-			計算式	/	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	<b>費目</b>	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	道路交通安全対策費	62	90	「新しい日本のための優先課題推進枠」90				
	計	62	90					

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	大規模災害時において、国民の生命・財産等を保護するために一元的に情報収集を図ることは、公益性が高く、専門性・技術性の観点からも国が率先して実施する事は、防災・減災等の面において必要不可欠である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	・当該予算の執行は国土交通省で実施する予定である。 ・また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関により審議いただく予定である。				
	改善の方向性	必要性、効率性、有効性に留意しながら検討を進める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
大規模災害時における初動の強化のため、官民が保有する道路交通情報の活用により、被害状況等を速やかな把握を可能とする情報収集の高度化を図ること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
必要性、効率性、有効性に留意しながら、大規模災害時における初動の強化のため、官民が保有する自動車のプローブ情報や通行規制情報等の活用により、被害状況等の速やかな把握を可能とする情報収集の高度化を図る。						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-30	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省  
62百万円



A 民間企業等

調査検討

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	大型車両の道路適正利用に係る調査検討経費		<b>担当部局庁</b>	道路局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度～		<b>担当課室</b>	道路交通管理課 車両通行対策室		室長 島谷 享	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5. 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通の安全性を確保・向上する			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	道路法第47条		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	我が国の道路は高度経済成長期に集中的に整備されたため、道路橋を始めとした道路構造物の老朽化が急速に進行しており、長寿命化対策が求められているところであるが、依然として、多くの重量制限等を超過する特殊車両通行許可違反の車両が通行し、道路構造物への疲労を蓄積させている実態がある。 このような状況を踏まえて、社会資本整備審議会道路分科会において、道路構造物の長寿命化のためには、指導・取締りの実効性を向上させる必要があるとの建議を受けたところであり、また、提言ではこれらの車両に対して、より一層の取締り・指導の強化が求められているところである。 以上のことから、大型車両の道路の適正利用を促進させるため、過去の違反等の分析を行い、実効性のある取締り・指導について検討を行う必要がある。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	重量制限等を超過した特殊車両通行許可違反の車両に対する措置としては、これまでも取締りや指導を講じてきたところではあるが、より実効性のあるものとするため、取締りや指導の実施要領を定めた「特殊車両の通行に関する指導取締要領」(道路局長通達)を平成25年1月に改正し、繰り返し違反通行を行う者に対しては是正指導を行い、さらにその内容の公表を行えるなどとしたところである。また、改正後の道路法(平成26年5月30日施行)においては、是正指導の呼び出しに応じない者に対しては、道路管理者が報告及び立入検査を行えることとし、この取組については、道路管理者だけでなく、関係機関等と協力し実施していくこととしているところである。 加えて、上記提言を受けて、平成26年5月には「道路の老朽化対策に向けた大型車両の通行の適正化方針」をまとめ、大型車両の道路利用の適正化をより一層進めていくこととしているところである。 以上から、違反実態等を分析し、新制度・新法に基づく新たな取締り・指導の効果を検証しつつ、今後の取締りに必要な措置を講ずるための調査・検討を実施する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求
		補正予算				9	
		前年度から繰越し				-	
		翌年度へ繰越し					
		予備費等					
		計				9	
	執行額						
執行率(%)							
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	違反者に対する取締の実効性の向上に向けた検討 (本事業は、違反者に対する取り締まりの実行性の向上に向けた検討を目的としており、定量的な成果指標を定めて実施するという性質のものではない。)		成果実績	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	違反状況調査分析、新通達・改正道路法に基づく取組の効果検証 (本事業は、違反状況調査等を行うこととしており、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない。)		活動実績	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たりコスト	-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	道路交通安全対策費	9	-				
	計	9	-				

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国自らが実施する許可事務に係る違反実態等に関する調査であるため。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検・ 改善 結果	点検結果	社会資本整備審議会道路分科会において、道路の適正な利用のためには、重量制限等を超過する特殊車両通行許可違反車両の指導・取締りの実効性を向上させる必要があるとの建議を受けており、また、提言ではこれらの車両に対してより一層の取締り・指導の強化が求められているところである。今般、指導・取締りに関する関係通達及び道路法を改正し、新たな取組を実施することとなったが、これについて、実態等を分析したうえでその効果を検証しつつ、今後必要な措置を講ずるための調査・検討を実施する必要がある。				
	改善の 方向性	業務の進捗等を確認しながら改善点があるか確認していく。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
平成26年度をもって事業終了						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
今後、本事業で得られた成果を活用した取り組みを進めるものとしている。						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-31	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省  
9百万円



A 民間企業等  
株式会社 長大

今後の取締りに必要な措置を講ずるための調査・検討

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)



## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

平成26年行政事業レビューシート

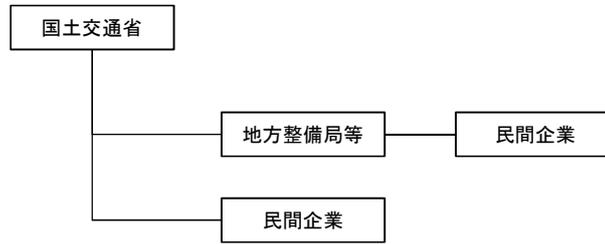
(国土交通省)

<b>事業名</b>	道路構造物の予防保全の着実な実施に係る経費		<b>担当部局庁</b>	道路局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度～平成30年度(予定)		<b>担当課室</b>	国道・防災課 環境安全課		課長 茅野 牧夫 課長 池田 豊人		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5. 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15. 道路交通の安全性を確保・向上する。				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	道路法第13条第1項 道路法第42条第1項		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	高度経済成長期に集中して建設された我が国の道路構造物が急速に高齢化すること等により、劣化損傷の危険性が高まる中で、技術者や技術力の不足等のために多数の市町村で定期的な点検が実施されていない等、道路構造物の保全の実態が明らかになってきた。このため、安全・安心の確保のために予防保全の取組みを推進するもの。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	道路構造物の予防保全の着実な実施に向け ・適切な判断の出来る道路管理者、適切な点検ができる点検技術者の確保 等 ・道路構造物のメンテナンスサイクル構築・運用支援や、データベースにより蓄積されたデータの分析・活用検討 等を実施。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算				113	166	
		前年度から繰越し				-		
		翌年度へ繰越し						
		予備費等						
		計				113	166	
	執行額							
	執行率(%)							
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	道路構造物の予防保全の着実な実施に向け、点検の信頼性の向上、メンテナンスサイクル等の導入等の検討(本事業は、道路構造物の予防保全の着実な実施に向けた検討を行うことを目的としており、定量的な成果指標を定めて実施するという性質のものではない)		成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	道路構造物の予防保全に資する人材育成、道路構造物データの分析等(本事業では、道路構造物の予防保全に資する人材育成、道路構造物データの分析等を行うものであり、活動指標を定めて実施するという性質のものではない)		活動実績	-	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たりコスト	-	-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	道路交通安全対策費	113	166					
	計	113	166					

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	道路交通の安全性の確保・向上を担う事業として実施。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該予算の執行は国土交通省等で実施する予定である。</li> <li>・また、入札及び契約内容の妥当性第三者機関である入札監視委員会等により審議頂く予定である。</li> </ul>				
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性、効率性、有効性に留意しながら検討を進める。</li> </ul>				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>道路構造物の予防保全の着実な実施に向け、自治体における点検の信頼性の向上、メンテナンスサイクル等の導入等に係る支援を図ること。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
<p>地方公共団体における点検の信頼性の向上、メンテナンスサイクル等の導入等に係る支援として、道路管理者を対象とした講習会の開催等を着実に実施。</p>						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-32	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【イメージ】



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 しているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
--	-----	------	--------------	------	-----